

アマゾン、多治見FCで高校生向け職業体験プログラム

Edited By LogisticsToday On 2015/07/29



アマゾンジャパンは28日、岐阜県立多治見北高校の1・2年生生徒15人を対象とした一日職業体験プログラム「ジョブシャドウ」を、アマゾン多治見フルフィルメントセンター（FC）で実施した。

ジョブシャドウは、若者の社会的適応力を育成する経済教育団体の「公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本」の協力で昨年、アマゾンが多治見市で初めて実施し、ことしは小田原FCでも27日に行った。

生徒1人がアマゾンの社員1人に数時間同行し、職場ごとの仕組みの違いやスタッフの役割、アマゾンが展開しているグローバルビジネスを肌で体験してもらった。

多治見FCでは、このほかにも環境に配慮したユニークな活動として、2013年から農業生産法人FRUSIC（フルージュック、岐阜県高山市）の協力のもと、同社が飼育するヤギが敷地内の草の一部を食べる「エコ除草」を実施している。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/176313>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.